

ちょこつとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

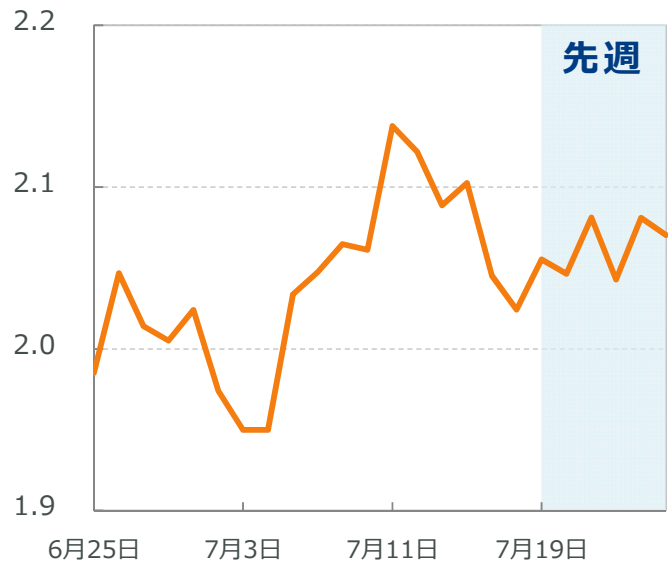
POINT 先進国国債利回り

【2019年7月22日～2019年7月26日】

米国国債利回りは上昇

- ◆米中両政府が閣僚級貿易協議を再開する方向で検討しているとの報道を受けて、米中貿易摩擦の懸念が後退し米国国債は売りが進みました（利回りは上昇）。
- ◆国際通貨基金（IMF）が2019年の経済成長率見通しを下方修正したことを受けて先行き警戒感が広がり、欧州国債はドイツを中心に買いが進みました（利回りは低下）。

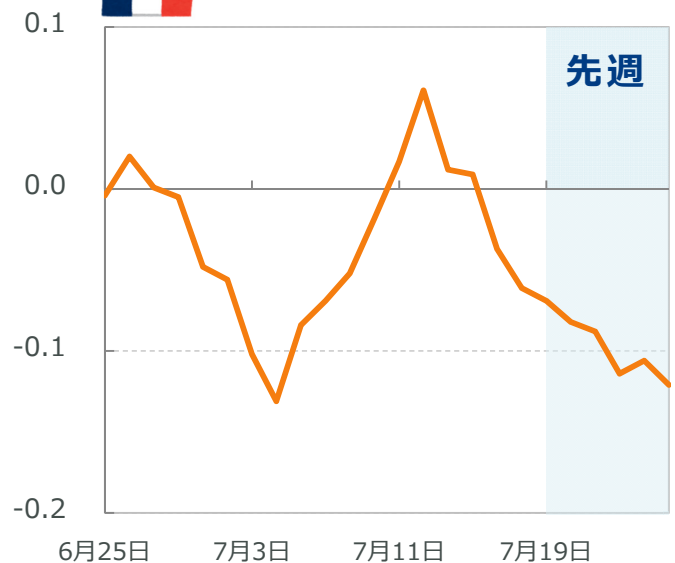
(%)  米国10年国債利回り



(%)  日本10年国債利回り



(%)  フランス10年国債利回り



(注) データは2019年6月25日から2019年7月26日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。

ちよコツとマーケット

(先進国国債利回り・為替)

POINT  **為替**

【2019年7月22日～2019年7月26日】

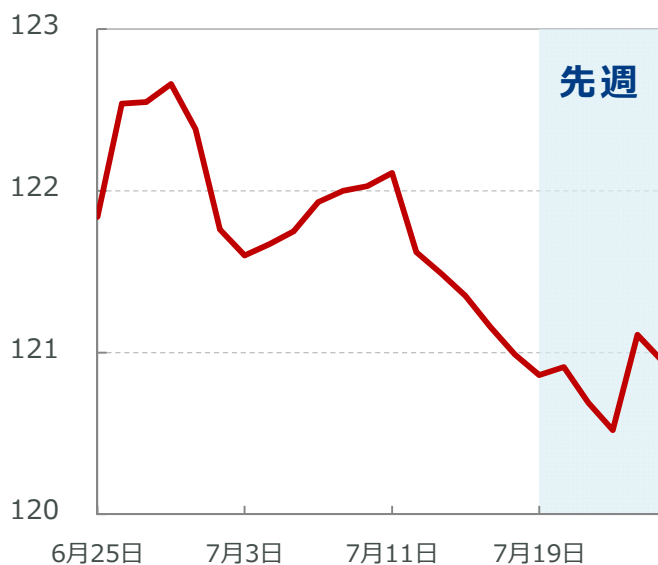
円は対米ドルで下落

- ◆米中貿易摩擦への懸念が後退したことなどから米ドルは上昇しました。4～6月期の米GDP（速報値）が市場予想ほど減速しなかったことも米ドルの好材料となりました。
- ◆豪州準備銀行（RBA）のロウ総裁が必要があればさらなる追加緩和を行う姿勢を示し豪ドルは対円で売りが進みました。

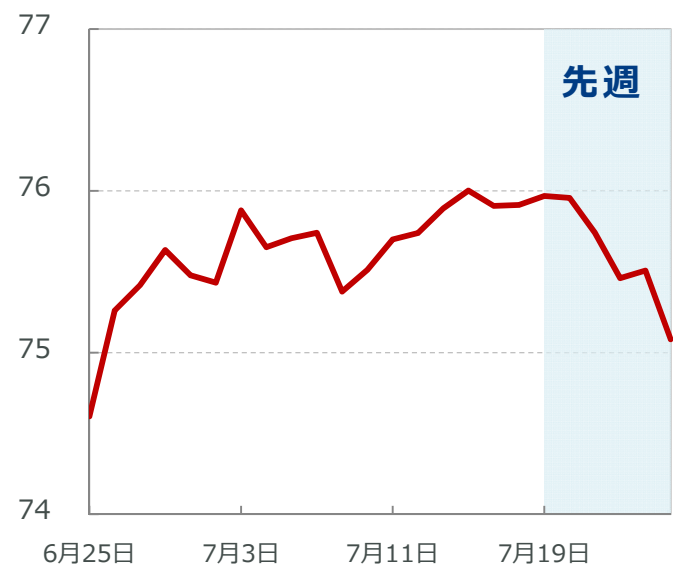
 **米ドル円**



 **ユーロ円**



 **豪ドル円**



(注) データは2019年6月25日から2019年7月26日（日次）。

(出所) Bloombergのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績および将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。